

平成28年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	在宅医療・救急医療連携セミナー			担当部局庁	医政局			作成責任者	
事業開始年度	平成29年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	地域医療計画課			室長：伯野 春彦	
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	平成24年3月30日医政発0330第28号「医療計画について」 平成24年3月30日医政指発0330第9号「疾病又は事業及び在宅医療に係る医療体制について」等				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	可能な限り住み慣れた地域で必要な医療・介護サービスを受けつつ、自分らしい生活を人生の最期まで続けることができる社会を目指す。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	地域における在宅医療と救急医療との連携を推進するため、連携が進んでいない自治体の在宅関係者や救急関係者等に対し、先進地域によるコーディネート等により、連携ルールの策定支援を行う。								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額(単位:百万円)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	-	-	17		
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
	計		0	0	0	0	17		
	執行額		-	-	-	-			
執行率(%)		-	-	-	-				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 -年度	目標最終年度 29年度
	自宅で死亡する患者の増加	自宅での死亡率(目標値「前年度以上」、27年度実績は集計中であるため、27年度及び28年度目標値は26年度目標値と同値)	成果実績	%	12.9	12.8	集計中	-	-
			目標値	%	12.8	12.9	12.8	-	精査中
			達成度	%	100	99.2	-	-	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	事業参加自治体数	活動実績	箇所	-	-	-	-		
		当初見込み	箇所	-	-	-	-		
単位当たりコスト	算出根拠			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	単位当たりコスト=X(執行額)÷Y(事業参加自治体数)	単位当たりコスト	千円	-	-	-	-		
		計算式	X / Y	-	-	-	-		
平成28・29年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
	保健福祉調査委託費	-	17						
	計	0	17						

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	政策大目標1 地域において必要な医療を提供できる体制を整備すること									
	施策	日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること(施策目標I-1-1)									
	測定指標	定量的指標				単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
		-	実績値	-	-	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-	-	-
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
	本事業を実施することにより、在宅医療患者等の急変時に適切に対応できる医療連携体制の構築が進み、良質かつ適切な医療を提供することに寄与する。										
	改革項目	分野:	-	-							
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)				単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
		-	成果実績	-	-	-	-	-	-	-	-
目標値			-	-	-	-	-	-	-	-	
達成度	%		-	-	-	-	-	-	-		
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)				単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	-	成果実績	-	-	-	-	-	-	-	-	
		目標値	-	-	-	-	-	-	-	-	
達成度		%	-	-	-	-	-	-	-		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											
-											
<b>事業所管部局による点検・改善</b>											
	項目					評価	評価に関する説明				
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。					○	在宅医療と救急医療との連携がとれていないことにより、在宅医療患者の急変時に本人の希望する医療を受けられていないという現状があり、ニーズは大きい。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。					○	国が今後の施策の方針を示すための事業であり、国が実施すべき事業である。				
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。					○	本事業は在宅医療を充実させる上で重要な施策であり、優先度は高い。				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。					-					
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。					無					
	競争性のない随意契約となったものはないか。					無					
	受益者との負担関係は妥当であるか。					-					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。					-					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。					-					
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					-					
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)					-					
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。					-						
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。					-					
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。					-					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。					-					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					-					
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					-					
	所管府省・部局名		事業番号		事業名						
	-		-		-						
点検・改善結果	点検結果	-									
	改善の方向性	-									

外部有識者の所見

点検対象外

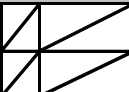
行政事業レビュー推進チームの所見

事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

備考

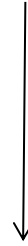
関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

※執行実績がないため、平成29年度執行のイメージ

厚生労働省  
17百万円



【委託・請負】

公募選定事業者(未定)  
(17百万円)

地域における在宅医療と救急医療との連携を推進するため、連携が進んでいない自治体の在宅関係者や救急関係者等に対し、先進地域によるコーディネート等により、連携ルールの策定支援を行う。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかについて補  
足する)  
(単位:百万円)

